

第2回  
「やまぐち森林づくり推進協議会」  
会議資料

平成17年8月9日  
山口県農林部

＝資料目次＝

1 平成17年度事業計画	……………	p. 1
2 健全で多様な森林づくり事業	……………	p. 2
(1) 公益森林整備事業		(p. 2)
(2) 竹繁茂防止緊急対策事業		(p. 4)
(3) やすらぎの森整備事業		(p. 6)
(4) 魚つき保安林等海岸林整備事業		(p. 6)
3 県民との協働による森林づくり推進事業	……………	p. 8

## 1 平成17年度事業計画

やまぐち森林づくり県民税関連事業については、第1回推進協議会において各事業の要件等の了解を得た後、各市町村に対して要望調査を実施した。この調査結果等を踏まえ、平成17年度事業については次表のとおり実施することとしたい。

### (1) 実施案

項目	平成17年度事業			平成17年度予算額 (千円)
	計画量	要望量	実施量(案)	
健全で多様な森林づくりの推進(ハード整備事業)				
公益森林整備事業	330ha	363ha	330ha	167,000
竹繁茂防止緊急対策事業	130ha	195ha	145ha	(当初) 50,000 (変更後) 65,000
やすらぎの森整備事業	3箇所	25箇所	3箇所	30,000
魚つき保安林等海岸林整備事業	2ha	10ha	2ha	5,000
県民との協働による森林づくりの推進(周知啓発事業)				
県民との協働による百年の森づくり推進事業	実施期日:10月30日(日)(森林づくりの日) 実施場所:下関市 深坂自然の森 開催規模:700人程度			9,000
適切な森林整備につながる森林資源の利用促進(木製品普及事業)				
やまぐちの木材活用推進事業	⇒実施の延期			(当初) 15,000 (変更後) 0
計				276,000

← 振替

### (2) 事業費の組み替え理由

各市町村からの要望調査の結果、①竹繁茂防止緊急対策事業は計画量の1.5倍に達し竹の繁茂対策が急がれる地域が多いとともに、②竹の繁茂箇所が人家に近い生活圏等に多いことなどから、緊急的な措置として「やまぐちの木材活用推進事業」の事業費を「竹繁茂防止緊急対策事業」に組替えて実施。

## 2 健全で多様な森林づくり事業

公益森林整備事業、竹繁茂防止緊急対策事業などハード整備関係4事業については以下のとおり実施することとしたい。

### (1) 公益森林整備事業

水源のかん養や県土の保全などの公益的機能の早期回復が必要な荒廃した人工林の整備を行う本事業については、市町村からの要望調査結果を踏まえ次のとおり実施する。

#### ① 市町村からの要望調査の結果

各市町村から、①地域事情、②事業の緊急性、③事業実施の可能性等を踏まえて要望量の調査を実施したところ、次表のとおり計画量を10%超える結果となった。

平成17年度計画事業量 (a)	市町村要望事業量 (b)	対比 (b/a)	備考
330 <small>畝</small>	363 <small>畝</small>	110 <small>%</small>	

#### ② 事業実施（案）

- i) 事業初年度であり、超過量も大幅でないことから、平成17年度の実施事業量は当初の計画事業量どおり330畝とする。
- ii) 各地域別の事業実施量は、市町村からの要望を基に、圏域間のバランス、調整基準に沿って精査し、実施案（p. 3）を策定した。

#### 《調整基準》

- 1 各圏域ごとに、①市町村要望量と②市町村別の水土保全林内の私有林における36年生以上のスギ・ヒノキ人工林の割合から求めた平成17年度基準値を比較。
- 2 次の調整率を基に圏域別及び市町村別に調整を実施。

区 分		調整率	
1 圏域別要望量 < H17基準値		1.0	
2 圏域別要望量 > H17基準値	2-1 市町村別要望量 < H17基準値	1.0	
	2-2 市町村別要望量 > H17基準値	1~2倍	0.9
		2~3倍	0.7
	10倍以上	0.5	

（注）本事業は、ダム上流域、河川源流域の荒廃したスギ、ヒノキの人工林を対象に県、市町村、対象森林の所有者の間で三者協定を締結し、40%以上の強度間伐を実施。所有者は整備後20年間は皆伐をしないことが条件。

## 平成17年度公益森林整備事業実施（案）

区分		① 要望量	② 基準値	①/② 対比	③ 調整率	④ 調整値	⑤ 実施案	⑥ 充足率	備考
岩 国	岩 国 市	10.00	11.15	0.90					
	和 木 町	0.20	0.17	1.18					
	由 宇 町	0.10	0.07	1.43					
	玖 珂 町	0.30	0.13	2.31					
	本 郷 村	4.00	4.65	0.86					
	周 東 町	6.20	4.85	1.28					
	錦 町	20.00	23.96	0.83					
	美 川 町	12.00	11.45	1.05					
	美 和 町	19.00	18.08	1.05					
	小 計	71.80	74.51	0.96					
柳 井	柳 井 市	1.00	1.19	0.84	1.00	1.00			
	周防大島町	6.00	1.65	3.64	0.70	4.00			
	上 関 町	—	0.20						
	平 生 町	1.00	0.66	1.52	0.90	1.00			
	小 計	8.00	3.70	2.16		6.00			
周 南	周 南 市	47.00	59.17	0.79	1.00	46.70			
	下 松 市	13.51	4.32	3.13	0.70	9.00			
	光 市	15.00	1.13	13.27	0.50	7.00			
	田布施町	0.50	0.26	1.92	0.90	0.50			
	小 計	76.01	64.88	1.17		63.20			
山 口 防 府	山 口 市	12.00	11.98	1.00					
	防 府 市	1.00	0.86	1.16					
	徳 地 町	20.00	20.26	0.99					
	秋 穂 町	—	0.00	—					
	小 郡 町	2.00	2.01	1.00					
	美 東 町	13.00	15.61	0.83					
	秋 芳 町	8.00	10.59	0.76					
	小 計	56.00	61.31	0.91					
宇 部 小 野 田	宇 部 市	6.00	7.76	0.77					
	山陽小野田市	2.00	0.72	2.78					
	美 祢 市	10.00	19.44	0.51					
	阿知須町	—	0.00	0.00					
	小 計	18.00	27.92	0.64					
下 関	下 関 市	50.00	22.01	2.27	0.70	35.00	35.00	70%	
長 門	長 門 市	23.00	13.37	1.72	0.90	20.00	20.00	87%	
萩	萩 市	45.00	37.81	1.19					
	阿 武 町	5.00	5.25	0.95					
	阿 東 町	10.00	19.24	0.52					
	小 計	60.00	62.30	0.96					
計		362.81	330.00	1.10			330.00	91%	

（注）要望量、基準値、調整値、実施案の単位は%。

## (2) 竹繁茂防止緊急対策事業

水源かん養機能の回復などが必要な荒廃した竹林の整備を行う本事業については、市町村からの要望調査結果を踏まえ次のとおり実施する。

### ① 市町村からの要望調査の結果

各市町村から、①地域事情、②事業の緊急性、③事業実施の可能性等を踏まえて要望量の調査を実施したところ次表のとおり計画量を大幅に上回る結果となった。

平成17年度計画事業量(a)	市町村要望事業量(b)	対比(b/a)	備考
130 <small>ha</small>	195 <small>ha</small>	150 <small>%</small>	

### ② 事業実施（案）

- i) 超過量が多く、緊急性も高いことから、平成17年度の実施事業量は、当初の計画事業量である130haに15haを追加し、145haとする。
- ii) 各地域別の事業実施量は、市町村からの要望を基に、圏域間のバランス、調整基準に沿って精査し、実施案（p. 5）を策定した。

#### 《調整基準》

- 1 各圏域ごとに、①市町村要望量と②市町村別の水土保持林内の私有林における竹林の割合から求めた平成17年度基準値を比較。
- 2 次の調整率を基に圏域別及び市町村別に調整を実施。
- 3 なお、全県的に7割を確保し、追加調整となる15ha分については各圏域の充足率も勘案して配分。

区	分	調整率
1 圏域別要望量<H17基準値		1.0
2 圏域別要望量>H17基準値	1倍程度	0.9
	1.5倍程度	0.7
	2倍程度	0.5

（注1）本事業はダムや身近な生活の場等の周辺の繁茂した竹林を対象に、県、市町村、対象竹林所有者の間で三者協定締結し、竹の伐採と再生竹の伐採（竹の伐採の後、再生する新たな竹を3年間全伐）を行うもの。対象竹林の所有者は伐採後9年程度、森林（竹林を除く）以外への転用をしないことが条件。

（注2）繁茂対策の経費については、繁茂率60%を想定して平均単価（385千円/1ha）を設定し、今年度計画事業量の130haに要する経費として50,000千円を積算。繁茂率100%の地域については平均単価が3倍程度の経費を要することが想定されるが、今回の要望調査の結果として繁茂対策の実施が急がれる箇所は全伐を要する箇所が多いことが想定されるため、整備面積の拡大については、繁茂率100%の全伐を想定し、これに要する経費により算定し15haとした。

平成17年度竹繁茂防止緊急対策事業実施（案）

区分		① 要望量	② 基準値	①/② 対比	③ 調整率	④ 調整値	⑤ 追加量	⑥ 実施案	⑦ 充足率
岩 国	岩 国 市	2.00	3.04	0.66		2.00	0	5.40	100%
	和 木 町	—	0.21	—		—			
	由 宇 町	0.50	0.46	1.09		0.50			
	玖 珂 町	0.20	0.09	2.22		0.20			
	本 郷 村	—	0.19	—		—			
	周 東 町	0.70	0.35	2.00		0.70			
	錦 町	1.00	1.01	0.99		1.00			
	美 川 町	—	0.16	—		—			
	美 和 町	1.00	0.78	1.28		1.00			
	小 計	5.40	6.29	0.86		1.00			
柳 井	柳 井 市	3.00	3.23	0.93		2.60	2.50	11.10	70%
	周防大島町	10.00	1.46	6.85		4.00			
	上 関 町	1.00	0.74	1.35		1.00			
	平 生 町	2.00	1.48	1.35		1.00			
	小 計	16.00	6.91	2.32		0.50			
周 南	周 南 市	30.00	15.86	1.89		15.00	6.00	28.00	60%
	下 松 市	10.00	3.70	2.70		4.00			
	光 市	5.00	3.40	1.47		2.00			
	田布施町	2.00	1.62	1.23		1.00			
	小 計	47.00	24.58	1.91		0.50			
山 口 防 府	山 口 市	10.00	3.77	2.65		7.00	1.50	18.50	75%
	防 府 市	1.50	1.43	1.05		1.50			
	徳 地 町	5.00	1.62	3.09		3.00			
	秋 穂 町	—	1.20	—		—			
	小 郡 町	3.00	0.40	7.50		1.50			
	美 東 町	2.40	3.08	0.78		1.50			
	秋 芳 町	3.00	4.19	0.72		2.50			
	小 計	24.90	15.69	1.59		0.70			
宇 部 小 野 田	宇 部 市	16.50	5.11	3.23		10.65	2.00	20.00	75%
	山陽小野田市	2.00	0.86	2.33		1.50			
	美 祢 市	8.00	10.65	0.75		5.50			
	阿知須町	0.35	0.10	3.50		0.35			
	小 計	26.85	16.72	1.61		18.00			
下 関	下 関 市	32.00	20.86	1.53	0.70	21.00	3.00	24.00	75%
長 門	長 門 市	17.00	15.93	1.07	0.70	15.00	0	15.00	88%
萩	萩 市	20.00	15.58	1.28		18.00	0	23.00	88%
	阿 武 町	3.00	2.51	1.20		3.00			
	阿 東 町	3.00	4.93	0.61		2.00			
	小 計	26.00	23.02	1.13		0.90			
計		195.15	130.00	1.50		130.00	15.00	145.00	74%

（注）要望量、基準値、調整値、実施案の単位は%。

### (3) やすらぎの森整備事業

県民に森林の持つ憩いや安らぎを与えてくれる生活に身近な森林の整備を行う本事業については、市町村からの要望調査結果、17市町から25箇所の整備可能な地域の提案があったが、この要望調査結果も踏まえ次の方針により整備を進めることとしたい。

#### ① 基本的な方向性

本事業については各年度3カ所の整備を想定し、やまぐち森林づくり県民税関連事業の実施期間となる5カ年で15箇所の整備を計画している。

この15箇所の整備に当たっては、少なくとも8圏域に1カ所ずつの整備を行うとともに、残り7カ所については地域実情（都市近郊地域など地域間交流が容易な箇所、他の事業等の連携等により相乗効果が期待される計画となっているものなど）に応じて整備箇所の選定を行うことが適当と考えられる。

#### ② 平成17年度事業実施箇所の選定（案）

- i) 地域間の均衡を図るため同一圏域内の重複は避けるとともに、
- ii) ①計画の具体性、②事業効果、③他事業との相乗効果の高い地域であることをポイントとして選定した結果、次の3カ所において事業を実施する。

市町村名	所在地	名 称	事 業 内 容
光 市	束 荷	伊藤公記念公園周辺	森林公園としての景観整備
徳地町	大原東	長者ヶ原	景観整備等
宇部市	川 上	霜降山	エコトイレの設置等

(注1) 本事業は生活環境保全林等を対象に森林景観や休憩施設、林内歩道等の整備。  
(注2) 整備可能な対象地域の提案については次ページを参照。

### (4) 魚つき保安林等海岸林整備事業

荒廃が著しい魚つき保安林等の海岸林の整備を行う本事業については、市町村からの要望調査結果を踏まえ、次のとおり実施することとしたい。

#### ① 市町村からの要望調査の結果

本事業については5カ年間で10ヶ所、このうち平成17年度は2ヶ所の整備を計画。  
市町村から5カ年間の要望調査を実施したところ、6市町から10ヶ所の要望があった。

#### ② 事業実施箇所等（案）

- ①計画の具体性、②緊急性、③事業効果の高い箇所から次の2地域を選定。

市町名	所在地	面 積	事 業 内 容
長門市	仙崎青海島	1.40ヶ所	抵抗性マツの植栽及び防風垣の設置
萩 市	櫃 島	0.60ヶ所	抵抗性マツの植栽及び防風垣の設置

(注) 要望地域については次ページを参照。

◆ やすらぎの森整備事業（要望地域一覧表）

市 町 名	所 在 地	名 称	備 考
光 市	束 荷	伊藤公記念公園周辺	森林公園としての景観整備
徳 地 町	大 原 東	長者ヶ原	景観整備等
宇 部 市	川 上	霜降山	エコトイレの設置等
岩 国 市	六 呂 師	高照寺山グリーンパーク	
錦 町	宇 佐 郷	深谷峡温泉清流の郷	
玖 珂 町	奥 ヶ 迫	玖珂町総合公園	
柳 井 市	琴 石	琴石グリーンパーク	
周 南 市	須 々 万	ふれあいの森	
下 松 市	笠 戸 島	笠戸島家族旅行村	
秋 穂 町	東	草山公園	
山 口 市	上宇野令	おとどい山森林公園	
山陽小野田市	有 帆	菩提寺山	
長 門 市	仙 崎	青海島	
	三 隅 中	千年の森	
	日 置 中	二位ノ浜	
下 関 市	蒲 生 野	自然の森深坂	
	豊 田 町	生活環境保全林華山	
	豊 北 町	大浦岳森林公園	
	菊 川 町	多武の峰公園	
萩 市	椿 東	田床山市民の森	
	田万川町	やすらぎの森宇生	
	旭 村	長小野フィールド	
	福 栄 村	とんだんの森（戸祢谷）	
阿 武 町	福 田 下	愛宕山やすらぎの森	
阿 東 町	嘉 年	十種ヶ峰ハイランド	
17市町		25箇所	

◆ 魚つき保安林等海岸林整備事業（要望地域一覧表）

市 町 名	所 在 地	面 積（畝）	備 考
長 門 市	仙崎青海島	1.40	抵抗性マツの植栽及び防風垣の設置
	西深川小松原	0.50	
	後畑大浜	0.50	
萩 市	櫃 島	0.60	抵抗性マツの植栽及び防風垣の設置
	椿東大渡	0.50	
	大井佐々古	0.50	
下 松 市	笠 戸 島	0.50	
宇 部 市	西岐波前ヶ沢	1.00	
下 関 市	豊北町角島	2.00	
	豊北町神田上	1.00	
	豊北町阿川	0.50	
阿 武 町	木 与	1.00	
6市町		10.00	

### 3 県民との協働による森林づくり推進事業

10月最終日曜日の「やまぐち森林づくりの日」の周知啓発事業について、①県民の共通理解を得るための「全県域行事」と、②県民が身近な場で森林づくりに参加体験をする「地域行事」を実施することとしたい。

#### (1) 全県域行事（やまぐち森林づくりフォーラム）

森林の重要性や整備の必要性、これを支える森林づくり県民税の新たな取組みについて県民の共通理解を得るための中核となる普及啓発行事として「やまぐち森林づくりフォーラム」を開催する。

##### 《開催概要（案）》

- 1 開催時期：平成17年10月30日（日曜日）（やまぐち森林づくりの日）
- 2 開催場所：下関市 深坂自然の森
- 3 参加人数：700人程度
- 4 内容
  - (1) 開会行事（2時間程度。午前中に実施）
    - ① 記念行事
    - ② 記念講演（300人程度）
  - (2) 森林体験活動（終日。主として午後に実施）

《事例》・やまぐちの森巡りツアー（荒廃森林・健全な森林を巡り体験するバスツアー）

    - ・森林環境教育（森林の重要性等を体感する森の教室の開催）
    - ・森の恵み体験活動（間伐木エクラフト、竹材工作、松茸等林産物の食体験）など
  - (3) 付帯行事（終日）

森林づくり及び県民税関係普及啓発パネル展示など

#### (2) 地域行事

「森林づくり週間」を中心に、県民が身近な場所で、多様な森林活動を体験し、森林づくりや県民税の理解を深めるため、民間団体等と連携を図りながら農林事務所や市町村を単位として、地域の特性を活かした普及啓発行事を開催。

##### 《開催事例》

- 間伐や枝打、竹林整備などの森林ボランティア体験活動
  - 民間団体等との連携による森林環境教育や交流活動等の開催
  - 森林所有者による所有山林の一斉整備活動の実施
  - 竹のイベント
- など